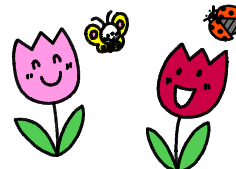


チーム えがお

【学校教育目標：たくましく生きる児童の育成】

・やさしい子 ・考える子 ・元気な子 ・やりぬく子



発行者：校長 岡田 達也

～ えがお かがやき がんばる 学校 困うえんだん 「チーム北川」～

「命を守る」訓練! 繰り返しが大切です

14日(火)より、家庭訪問が始まりました。家庭訪問は、学校と家庭との絆を深める大切な機会です。ぜひ、学校と家庭の絆を深めるとともに、担任と保護者の方との信頼関係を築くよい機会となるようよろしくお願いいたします。

そんな中、避難経路の確認を全校で行いました。「訓練で出来ないことは、本番でも出来ない」、また「訓練は本番のように」「本番は訓練のように」などと言われます。このことは東日本大震災の教訓からも明らかです。楽しい学校生活を送るためには、安全・安心が第一だと思います。そのためにも、いろいろな災害に対する避難訓練は欠かせません。

訓練で避難の仕方をくり返し練習し、対応力を身に付けることが大切ですが、実際の災害ではそのときの状況を冷静かつ瞬時に判断しなければなりません。だからこそ、基本をくり返し練習する、避難訓練が重要なのです。「考える」「行動する(やってみる)」ことで、子どもたち自身が自らの命を守る、友だちの命を守ることができるようになっていきます。

子どもたちは、こうした繰り返しの中で多くのことを学び、適切な判断力を身に付けていきます。これからも、いろいろな場面で子どもたちが「判断する」機会を設け、子どもたちによりよい判断する力を身に付けていきたいと思ひます。



ABCDの原則 あちこちで!



始業式で子どもたちに、4月は「あいさつ」と「くつそろえ」をがんばろうと呼びかけ、2週間になります。ABCDの原則「あたりまえのことを ばかにしないで ちゃんとする人が できる人です!」が少しずつですが増えています。雑巾をそろえてかける、油性ペンを色ごとにそろえる、どれもあたりまえのことです。「あたりまえ」のことには、大切な意味があります。例えば、乾きやすい、次の人が使いやすい、とか。こうした意味をきちんと理解して(考えて)行動することができるようになれば、言うことなしですね!